

香川県南海地震被害想定調査の概要 (抜粋)



平成17年3月

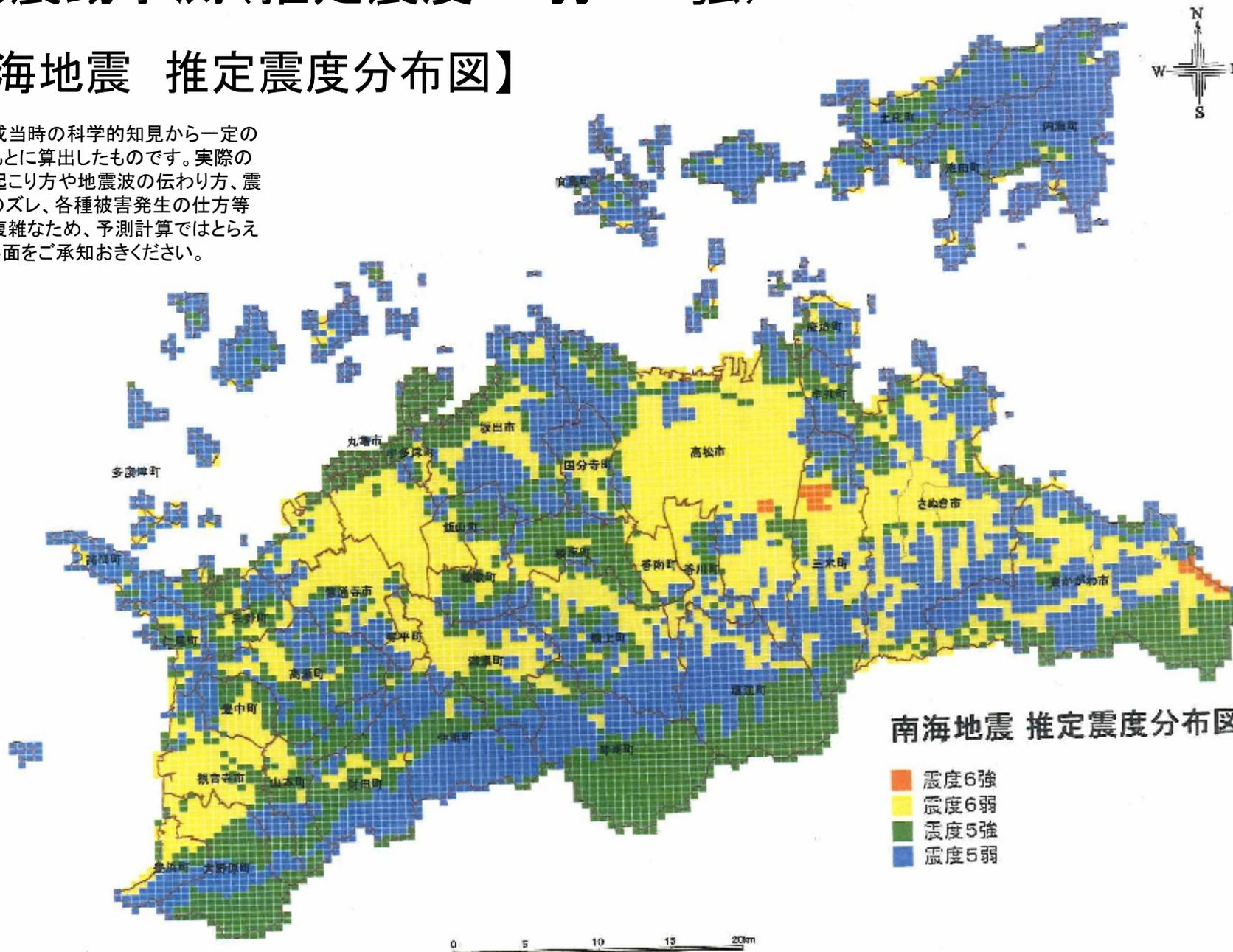
目次

1.	地震動予測	1
2.	液状化危険度予測	2
3.	津波予測	3
	【参考1】津波水位と第1波到達時間を示した図	4
	【参考2】高松港等における最大津波と津波到達時間	5
	【参考3】高松港における津波高時間波形図	6
	【参考4】津波浸水予測図（高松市中部）	7

1. 地震動予測(推定震度:5弱~6強)

【南海地震 推定震度分布図】

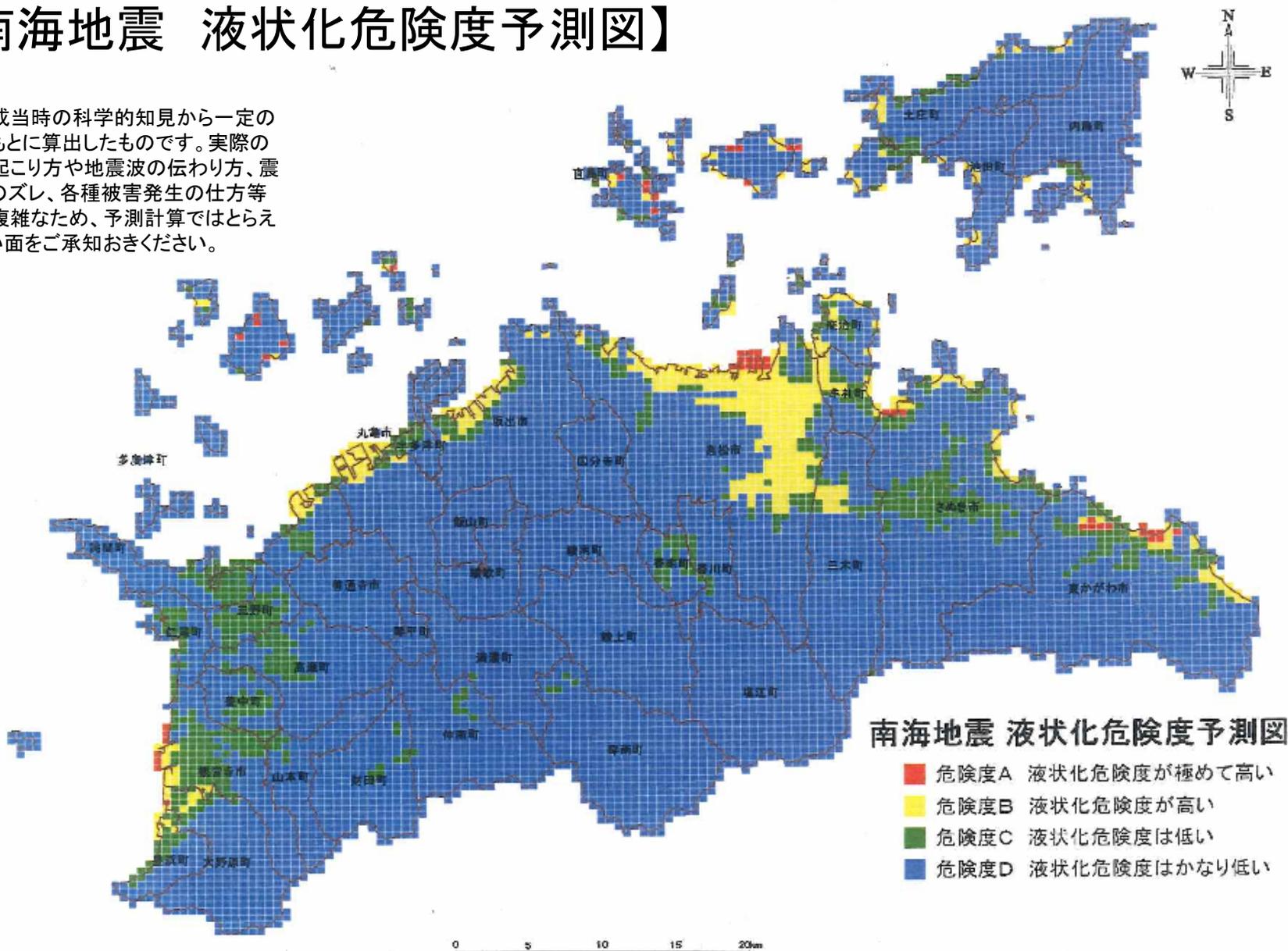
(注)作成当時の科学的知見から一定の仮定のもとに算出したものです。実際の地震の起こり方や地震波の伝わり方、震源域でのズレ、各種被害発生仕方等は大変複雑なため、予測計算ではとらえきれない面をご承知おきください。



2. 液状化危険度予測 (危険度A: 臨海部のごく限られた地域、危険度B: 低地部のほとんど)

【南海地震 液状化危険度予測図】

(注) 作成当時の科学的知見から一定の仮定のもとに算出したものです。実際の地震の起こり方や地震波の伝わり方、震源域でのズレ、各種被害発生仕方等は大変複雑なため、予測計算ではとらえきれない面をご承知おきください。

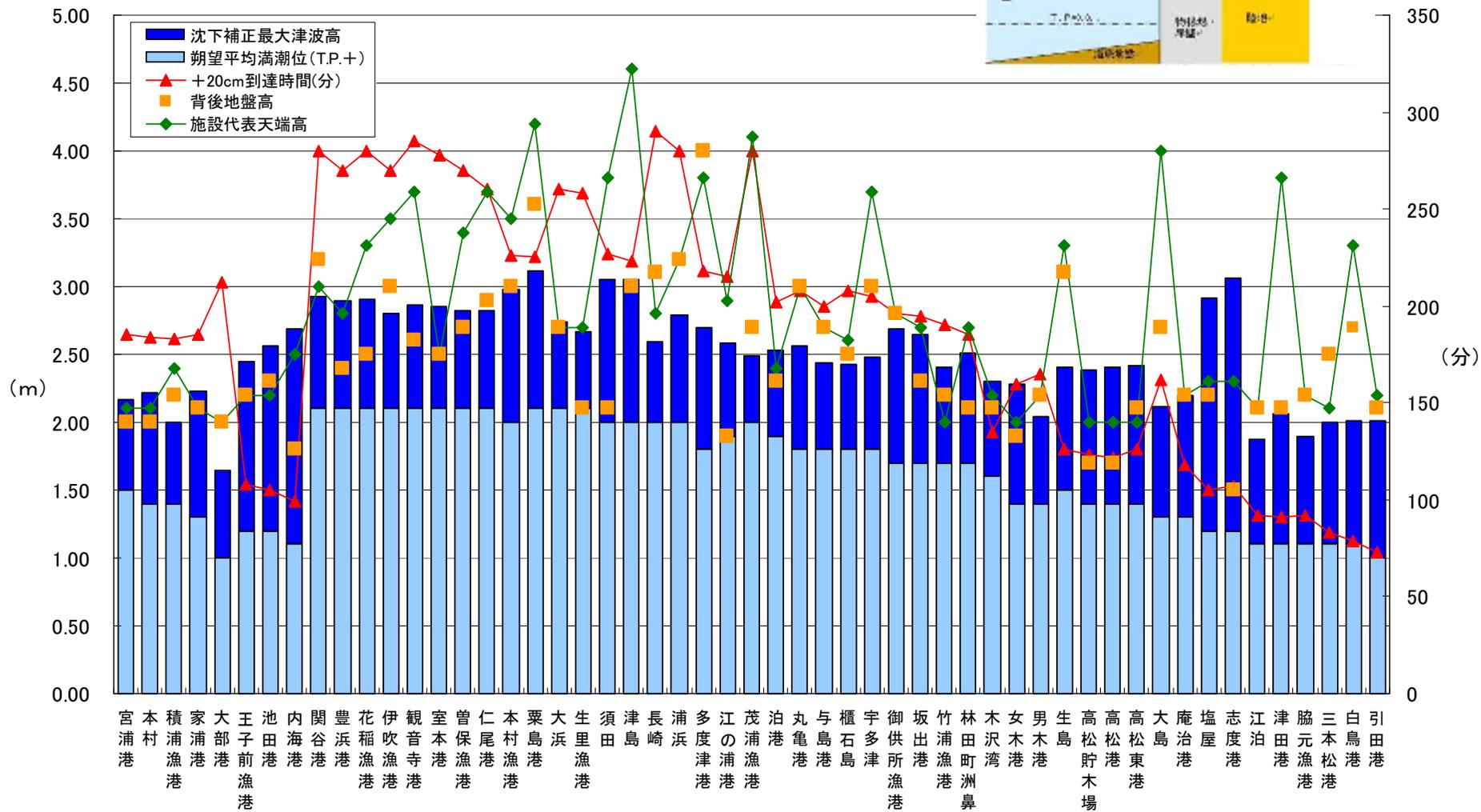
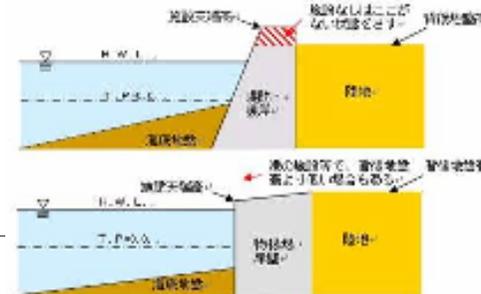


3. 津波予測 (最大津波高:約0.5~1.9m、最大津波水位:T.P.+1.7~3.1m)

【最大津波高・水位と施設天端高・背後地盤高の比較】

(注1) 東京湾平均海面(T.P.)を基準

(注2) 沈下補正最大津波高とは、正味の最大津波高に地震による地盤沈下量を加算して、施設天端高、背後地盤高と比較するためのみかけの値である。



(県内の主な港湾等)

(注3) 作成当時の科学的知見から一定の仮定のもとに算出したものです。実際の地震の起こり方や地震波の伝わり方、震源域でのズレ、各種被害発生の仕方等は大変複雑なため、予測計算ではとらえきれない面をご承知おきください。

【参考2】

高松港等における最大津波と津波到達時間

市町名	地点名	朔望平均満潮位 (m)	最大津波					+0.2m 水位上昇時間 (分)	津波伝播第一波ピーク	
			最大津波高 (m)	初期地盤沈下量 (m)	沈下補正最大津波高 (m)	沈下補正最大津波水位 (m)	ピーク発生時刻 (分)		時間 (分)	津波高 (m)
高松市	高松港	1.4	0.86	-0.14	1.01	2.41	346	122	133	0.32
東かがわ市	引田港	1.0	0.79	-0.22	1.01	2.01	475	73	84	0.83
観音寺市	観音寺港	2.1	0.47	-0.29	0.76	2.86	444	285	287	0.49

※: 沈下補正最大津波高及び沈下補正最大津波水位は、現況天端高、地盤高との比較のためのみかけの値

※: 津波伝播第一波ピークとは 水位上昇の高さに関わらず最初に押し寄せる津波のピーク時間及び

ピーク津波高(+0.2m以下の津波高も含む)

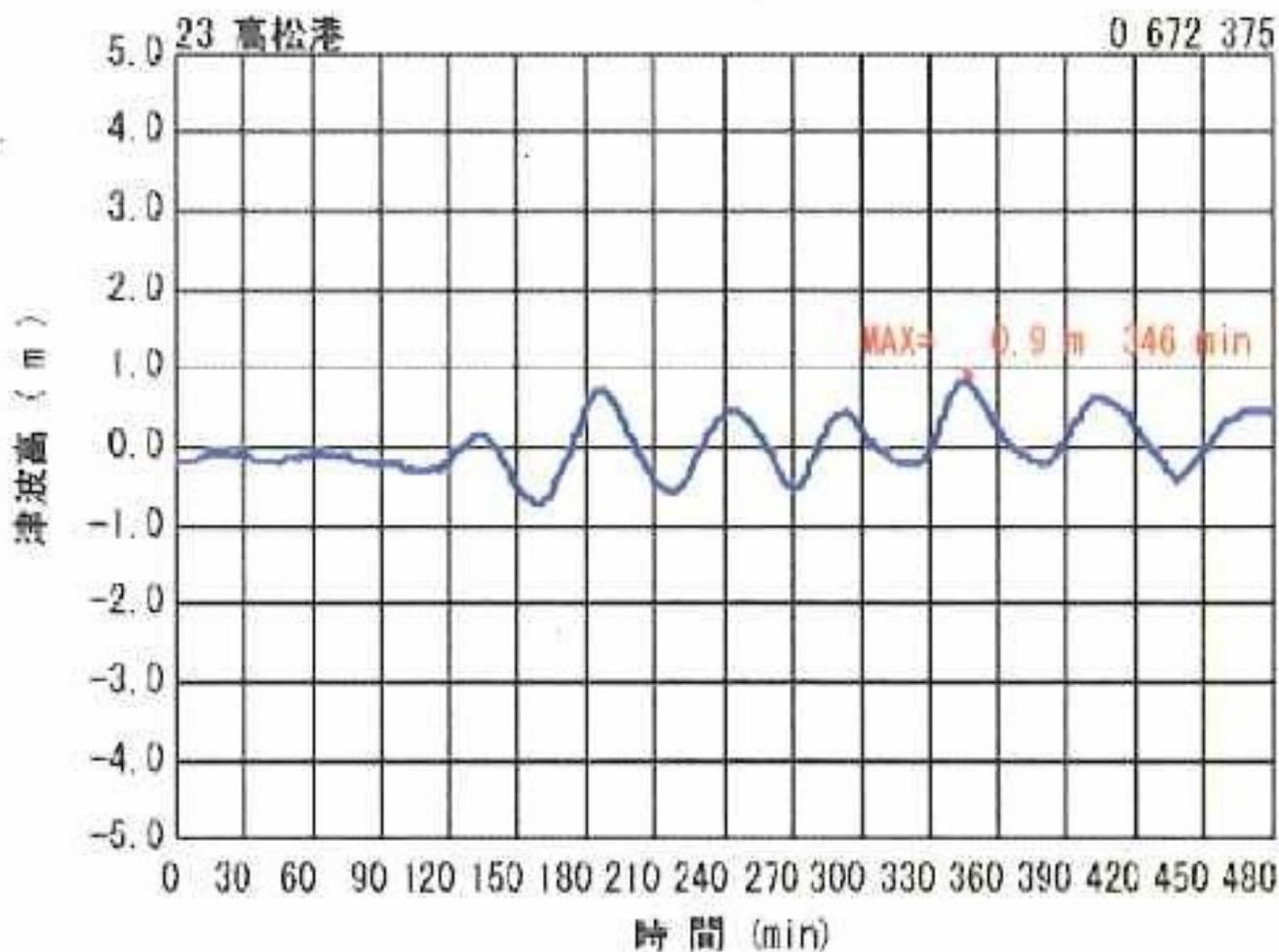
※: 津波水位とは、T.P(東京湾平均海面)から海面までの水位

※: 津波高とは、HWL(朔望平均満潮位)から海面までの高さ

(注)作成当時の科学的知見から一定の仮定のもとに算出したものです。実際の地震の起こり方や地震波の伝わり方、震源域でのズレ、各種被害発生の仕方等は大変複雑なため、予測計算ではとらえきれない面をご承知おきください。

【参考3】

高松港における津波高時間波形図



(注)作成当時の科学的知見から一定の仮定のもとに算出したものです。実際の地震の起こり方や地震波の伝わり方、震源域でのズレ、各種被害発生の仕方等は大変複雑なため、予測計算ではとらえきれない面をご承知おきください。

